

令和5年6月9日

病院長 様

令和5年度 甲状腺簡易測定研修（量研）・ホールボディカウンター研修

開催の御案内

拝啓 時下ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

当機構の業務につきましては、日頃より格段の御高配を賜り厚くお礼申し上げます。

令和5年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）の一環として当機構が対面形式で開催する「甲状腺簡易測定研修（量研）」と「ホールボディカウンター研修」のご案内です。

甲状腺簡易測定研修は原子力災害時に放射性ヨウ素が環境中に放出された場合に、周辺住民等の甲状腺簡易測定を迅速に実施できる体制整備の一環として甲状腺簡易測定を行う担当者の養成を目的とした研修です。

また、ホールボディカウンター研修は原子力災害時の医療拠点となる病院（原子力災害拠点病院 等）において、被ばく線量の推定・測定・評価を行う人材を育成することを目的とした研修です。

つきましては、貴院職員に、本研修の受講を推奨いただけますようお願いいたします。

敬 具

【添付書類】

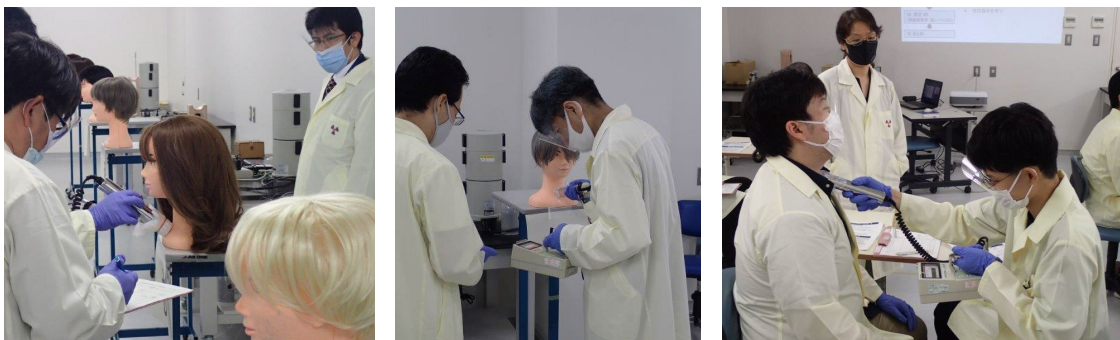
- 令和5年度 第1回・第2回・第3回 甲状腺簡易測定研修（量研） 募集要項
- 令和5年度 第1回・第2回・第3回 ホールボディカウンター研修 募集要項

【問い合わせ先】

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1
国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構
量子生命・医学部門 放射線医学研究所
原子力防災推進部 人材育成・研修課
Tel：043（379）7808
Email：hibaku-training@qst.go.jp

甲状腺簡易測定研修（量研）募集要項

本研修は、甲状腺簡易測定を行う担当者の養成を目的としており、原子力災害時に放射性ヨウ素が環境中に放出された場合に備え、周辺住民等の甲状腺簡易測定を迅速に実施できる体制整備の一環として開催するものです。甲状腺簡易測定実習を主として、甲状腺簡易測定を行う上で必要な線量評価関連事項に関する講義を併せて行います



本研修は「基礎」から「専門」へステップアップする原子力災害医療に関する研修の一つとなります。

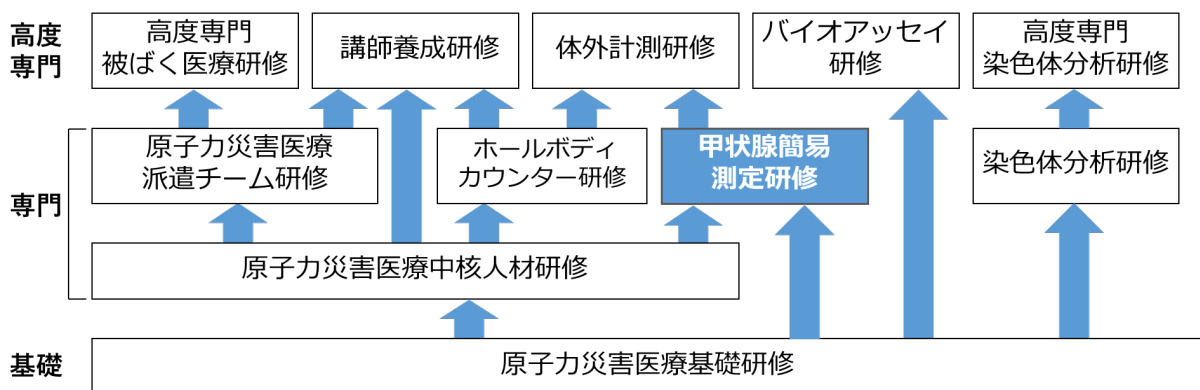


図 ステップアップする研修体系

甲状腺簡易測定研修は、全国に 6 か所ある高度被ばく医療支援センター（当機構のほか、弘前大学、福島県立医科大学、福井大学、広島大学、長崎大学）で開催します。どちらで開催する研修も内容は同様となりますので、ご都合によって、受講する研修をご検討いただければ幸いです。研修の詳細につきましては、各支援センターから送付される案内やポータルサイトをご参照ください。

1. 募集人数および日時

募集人数 10名／回

日時 第1回 令和5年8月16日(水) 8:50～16:20(8:50より生活案内)
第2回 令和5年10月4日(水) 8:50～16:20(8:50より生活案内)
第3回 令和6年1月10日(水) 8:50～16:20(8:50より生活案内)

2. 対象者

以下の①、②を満たす方。

① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力災害拠点病院、原子力災害医療協力機関等で、原子力災害時に周辺住民等の甲状腺内部被ばくの簡易測定を担当される方、又はその可能性がある方。

② ステップアップする研修体系(図 ステップアップする研修体系 参照)のもと開催するため、原子力災害医療基礎研修[※]または原子力災害医療中核人材研修[※]を修了していることが必要となります。

※ [過去研修リスト](#)にある研修のうち原子力災害医療基礎研修相当と中核人材研修相当の研修(原子力災害医療中核人材研修、第11回～第18回のNIRS被ばく医療セミナー、原子力災害医療総括担当者コース)の受講修了を含みます。

3. 実施場所

量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 研修棟

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

(量研ホームページ[交通のご案内](#)をご確認ください)

4. 研修科目

時間表参照。

研修講義にかかる原子力災害医療研修のテキストについては、以下のURLからダウンロードできます。 <https://www.qst.go.jp/soshiki/101/37231.html>

5. 受講料

無料

6. 交通費・宿泊費

当機構規程によりお支払いいたします。

7. 申込要領

申込締切日 第1回 令和5年7月14日(金)

第2回 令和5年9月1日(金)

第3回 令和5年12月1日(金)

お申し込み多数の時は早めに締め切らせていただくことがあります。

申込方法

ポータルサイトより申し込んでください。（「[入力操作の手引き](#)」参照）

※「原子力災害医療に関する研修」の受講歴を忘れずにご入力ください。

ポータルサイト <https://retms.nirs.qst.go.jp/>



8. 受講決定通知

- 研修開始日の2週間前までに所属長及び本人宛の結果を文書で通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させていただくことがあります。（受講決定は先着順ではありません）なお、研修開始日の2週間前を経過しても受講決定通知が届かない場合は下記問い合わせ先までご連絡下さい。
- 受講決定者には経費支払いに関する情報及び書類、研修日程等受講に必要な諸事項を送付します。
- 受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は、研修の取りやめ、受講決定取り消し、受講辞退受付の場合があります。

9. その他

新型コロナウイルス感染症拡大等の事情によっては、研修の中止、中断があることもご理解のほどお願いいたします。

10. 連絡先

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川 4-9-1

量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門

放射線医学研究所 原子力防災推進部 人材育成・研修課

電話（直通）：043-379-7808

E-mail：hibaku-training@qst.go.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際して御記入いただきました氏名、住所等の個人情報は、当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

令和5年度 甲状腺簡易測定研修 時間表

時 間		場 所	講義タイトル
9:00 - 9:10	0:10	講義室 2	開講式
9:10 - 10:00	0:50	講義室 2	1. 原子力災害対応
10:00 - 10:10	0:10	休憩	
10:10 - 11:00	0:50	講義室 2	2. 甲状腺簡易検査
11:00 - 11:45	0:45	講義室 2	話題提供
11:45 - 12:45	1:00	昼食	
12:45 - 13:00	0:15	講義室 2	実習ガイダンス
13:00 - 15:00	2:00	実習室 1	実習① 甲状腺簡易測定
15:00 - 15:20	0:20	休憩(移動)	
15:20 - 15:40	0:20	講義室 2	実習② 新甲状腺モニターデモンストレーション
15:40 - 16:10	0:30	講義室 2	総合討論、質疑応答
16:10 - 16:20	0:10	講義室 2	閉講式

ホールボディカウンター研修 募集要項

1. 研修の目的と概要

本研修は令和5年度 原子力災害対策事業費補助金（原子力災害等医療実効性確保事業）の一環として、量子科学技術研究開発機構が年3回開催する専門研修です。

本研修では、原子力災害発生時の医療拠点となる病院（原子力災害拠点病院等）において、被ばく線量の推定・測定・評価を行う人材を育成することを目的としており、ホールボディカウンターや周辺機器類の管理を行う方を対象に、それらの機器の操作、測定、データ処理及び校正法など、内部被ばく検査や線量測定と評価に必要な高度で専門的な技術と知識の習得を目指します。また、講義のほか、ホールボディカウンターをはじめとした関連実機を用いた実習も行います。



本研修は「基礎」から「専門」へステップアップする原子力災害医療に関する研修の一つとなります。

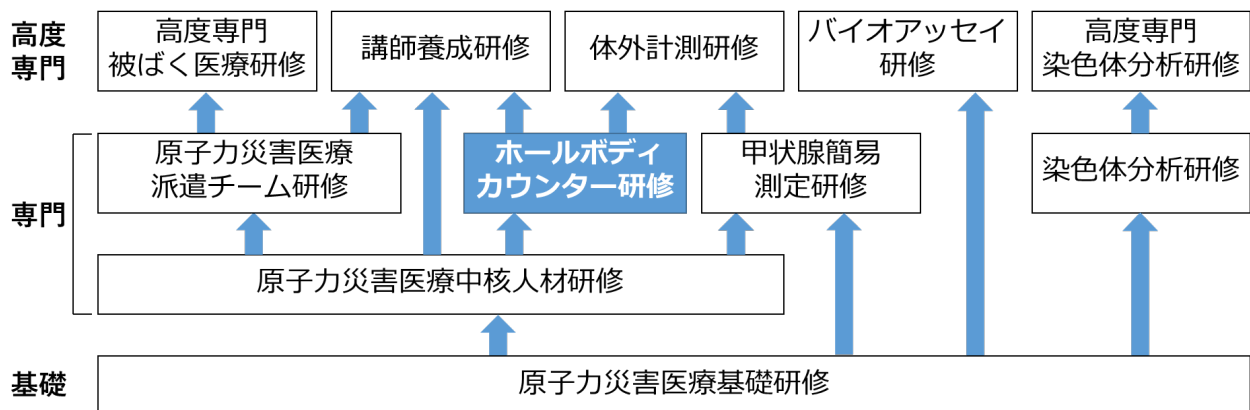


図 ステップアップする研修体系

2. 募集人数および研修期間

募集人数 10名/回

研修期間 第1回 令和5年8月17日(木) ～令和5年8月18日(金) 1泊2日の宿泊研修
第2回 令和5年10月2日(月) ～令和5年10月3日(火) 1泊2日の宿泊研修
第3回 令和5年11月20日(月) ～令和5年11月21日(火) 1泊2日の宿泊研修

3. 対象者

以下の①、②を満たす方。

- ① 原子力災害拠点病院及びその候補病院において、被ばく線量の推定・測定に従事し、ホールボディカウンターと周辺機器類の管理を行っている方、及びこれから行う方。
- ② 以下のいずれかの研修を修了している方
原子力災害医療中核人材研修
第11回～第18回のNIRS被ばく医療セミナー、
原子力災害医療総括担当者コース(平成27年1月に放医研で開催)
令和3年4月以降のホールボディカウンター研修

4. 実施場所

量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 研修棟
〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1
(量研ホームページ [交通のご案内](#) をご確認ください)

5. 研修科目

時間表参照。

研修講義にかかる原子力災害医療研修のテキストについて、以下のURLからダウンロードができます。 <https://www.qst.go.jp/soshiki/101/37231.html>

6. 受講料

無料。

7. 交通費・宿泊費について

当機構の規程に従い、交通費及び宿泊費を支給します。

8. 申込要領

申込締切日	第1回	令和5年7月14日(金)
	第2回	令和5年8月25日(金)
	第3回	令和5年10月13日(金)

申込方法

ポータルサイトより申し込んでください。(「[入力操作の手引き](#)」参照)

※ 「3. 対象者 ②」の研修の受講歴を忘れずにご記入ください。



ポータルサイト <https://retms.nirs.qst.go.jp/>

9. 受講決定通知

- 研修開始日の 2 週間前までに所属長及び本人宛の結果を文書で通知します。応募者多数の場合には受講者数を調整させていただくことがあります。(受講決定は先着順ではありません) なお、研修開始日の 2 週間前を経過しても受講決定通知が届かない場合は下記問い合わせ先までご連絡下さい。
- 受講決定者には経費支払いに関する情報及び書類、研修日程等受講に必要な諸事項を送付します。
- 受講決定後でも社会通念上相当とする理由がある場合は、研修の取りやめ、受講決定取り消し、受講辞退受付の場合があります。

10. その他

新型コロナウイルス感染症拡大等の事情によっては、研修の中止、中断があることもご理解のほどお願いいたします。

11. 連絡先

〒263-8555

千葉県千葉市稲毛区穴川4丁目9番1号

量子科学技術研究開発機構 量子生命・医学部門 放射線医学研究所

原子力防災推進部 人材育成・研修課

電話（直通）：043-379-7808

E-mail : hibaku-training@qst.go.jp

個人情報の取り扱いについて

申込に際して御記入いただきました氏名、住所、口座番号等の個人情報は、当機構の個人情報保護規程に基づき厳重に取り扱い、原子力災害対策指針に基づく原子力災害時における医療体制等の整備に向け、本研修の受講記録として管理・保管すること及び、下記の利用目的以外では一切使用致しません。

- ① 原子力施設立地・隣接道府県、原子力規制庁、高度被ばく医療支援センター及び原子力災害医療・総合支援センターからの受講記録照会のため
- ② 受講者への連絡のため
- ③ 講師への情報提供のため
- ④ 研修終了後のフォローアップのため
- ⑤ その他研修業務の遂行のため

※被ばく医療研修ポータルサイトのサイトポリシーもご参照ください。

令和5年度 ホールボディカウンター研修 時間表

時間	教室	講義タイトル	内容
1 日目			
13:00 - 13:20	0:20	講義室 2	開講式/ガイダンス/立入説明
13:20 - 13:50	0:30	講義室 2	線量評価の概念 原子力災害医療の概要と線量評価の重要性
13:50 - 14:40	0:50	講義室 2	体外計測法 ホールボディカウンター (WBC) 測定及び線量評価
14:40 - 14:50	0:10	移 動	
14:50 - 16:50	2:00	管理区域 内	γ線スペクトロメトリ実習 γ線スペクトロメーターを用いた測定法及びデータ処理法について実習する。
2 日目			
9:00 - 10:50	1:50	線量評価 棟肺モニタ室	ホールボディカウンター (WBC) 実習 (統合型 WBC) BOMAB ファントムを用いてホールボディカウンター (WBC) の校正を行い、体格差による計数効率の差異等を理解する。
10:50 - 11:00	0:10	移 動	
11:00 - 12:00	1:00	講義室 2	内部被ばく線量の計算 (実習) MONDAL3 (放医研開発計算ソフト) を使用して内部被ばく線量の計算問題を解く。
12:00 - 13:00	1:00	昼食	
13:00 - 14:00	1:00	講義室 2	公衆線量評価 【話題】 福島県内での住民のホールボディカウンター (WBC) 測定：現状と課題 東電福島第一原発事故以降、福島県を中心にこれまでに行われてきた住民のホールボディカウンター (WBC) 測定の概要と見出された諸課題について情報提供をする。
14:00 - 14:15	0:15	講義室 2	閉講式